

大阪損保革新懇ニュース

大阪損保革新懇事務局
 大阪市中央区道修町3-3-10
 大阪屋道修町ビル3F
 06-6232-1095

「2010・8・6」平和アピール

1945年8月6日午前8時過ぎ、世界ではじめての原子爆弾が広島に投下され、人類の歴史上例を見ない悲惨な結果をもたらしました。あれから65年がたちました。

今年の8月6日は、被爆・終戦65周年と安保条約改定50周年という節目の中で、平和を求める国民の強い要求と、沖縄米軍普天間基地の無条件撤去の運動が日本国民に広がっている中で迎えます。原水爆禁止2010世界大会は、核不拡散条約(NPT)再検討会議で確認された「核兵器のない世界」に向けた流れをさらに大きくすることをめざして開催されます。

私たち大阪損保革新懇は1998年の結成以来、「損保産業は平和とともに発展する産業」「一人は万人のために、万人は一人のために」という産業の精神を大切に、「この産業で働くものとしての誇りを持ち、生きがいを見つけない」という3目標を掲げて、さまざまな運動を取り組んできました。

平和のとどろきみは、1999年、2001年、2004年、2005年の8月6日の広島・原爆記念日に4度にわたって広島平和公園での平和式典と損保慰霊祭に参加してきました。とくに、2005年の被爆60周年には、全国の損保革新懇と損保9条の会14団体のよびかけで「世界遺産『宮島』で平和を語り合う損保全国集会」を開催しました。講師に品川正治氏を招き、『21世紀の世界平和を広島で考える』と題した記念講演に全国から150名の仲間が集い、大阪からは100名の仲間が参加するという画期的な集会となりました。

あれから5年、世界と日本の情勢も大きく変化しつつあります。私たちは今年も5回目の平和ツアーの実現を検討してきましたが、いくつかの事情が重なり、今回は世話人会と会員有志計11名が当日の広島平和公園での記念平和式典と損保慰霊祭に参加することになりました。

広島平和公園に多くの慰霊碑がありますが、その一つに損保慰霊碑が建っています。原爆が投下された当時、広島では14の保険会社に200名の社員が働いていましたが、そのうち89名ものが犠牲になりました。この慰霊碑は被爆20周年を記念して1965年に全損保広島地協が建立したものです。碑には『なぜ あの日には あった なぜ いまもつづく 忘れまい あのにくしみを この誓いを』と刻まれています。大変短い文ですが、この碑文は原爆投下の理由や原爆投下の犯罪性を鋭く指摘するとともに、わたしたちに平和な世の中を築くために平和への行動を過去から現在そして未来へと受け継ぐことの大切さを訴えています。今日あらためて、私たちはもう一度この碑文の言葉をかみしめたいと思います。

このたびの参議院選挙で民主党は改選議席数を大きく下回り、国民新党と合わせた与党の議席は過半数を割り込みました。10ヶ月前の総選挙で自公政権を退陣に追い込んだ国民は、今度は民主党政権に厳しい審判を下しました。多くの国民は民主党のマニフェスト実現に期待を寄せましたが、民主党は「政治とカネ」問題や米軍普天間基地のアメリカのいいなりの日米合意など国民の期待を裏切りました。6月初め、追い込まれた鳩山首相・小沢幹事長は退陣、新たに誕生した菅政権もこれらを反省するどころか日米合意推進・消費税増税・大企業法人税減税を持ち出してきました。国民が選挙で怒りを表明したことは当然です。日本の政治・経済政策は再び、「ねじれ」国会のもとで進められていくことになりました。政党間でも複雑で流動的な情勢が生まれています。憲法改悪・沖縄基地存続・消費税増税・福祉教育切り下げなど新たな国民生活への攻撃も予測されます。激動情勢はまだまだ続きそうです。

「2010・8・6」を迎え、私たちはあらためて世界から核兵器をなくす運動に賛同するとともに革新三目標と損保革新懇三座標軸の精神を確認し、国民生活の向上、日本と世界の平和実現、損保産業の民主的な発展をめざし、奮闘することを誓い合おうではありませんか。

2010年7月28日

大阪損保革新懇世話人会

2010年度講演会シリーズ〈第2弾〉

龍馬が生きた時代

— 開国から維新へ —

2007年11月に兵庫県立大学経済学部長の松浦昭さんを招いて「幕末の通貨戦争」の講演は参加者から大変好評でした。今回3年ぶりに第2弾としてテーマは『龍馬が生きた時代』の「幕末」、その社会、文化、経済を縦横に語っていただきます。現在NHK大河ドラマで「龍馬伝」が放送されていますが、その時代の講演をお楽しみください。

みなさんの多数のご参加をお願いします。

講師： 兵庫県立大学経済学部教授 松浦 昭 さん

場所： アイクルの部屋 大阪屋道修町ビル3階

参加費： 1000円

交流会は別途 1500円（ビール、お酒、軽食付）

〈品川正治さんの新著紹介〉



（品川正治対談集）

このほど品川さんは新日本出版社から新刊『立ち位置変えず』を刊行されました。品川さんは日頃、世界と日本が激動期にある現在、平和憲法のもとでの外交・経済政策を主張されています。今回の新刊はこの数年に品川さんが雑誌『世界』『経済』『赤旗』などで、辻井喬、小林陽太郎、河野洋平、渡辺治、志位和夫氏らと自由闊達に語り合われた対談集です。品川さんの政治・経済・哲学・歴史全般にわたる広い世界が縦横に語られています。

事務局でまとめて購入していますので、希望者は事務局、もよりの世話人までお申し出ください。一冊1680円です。

〈高田橋さん裁判！8月3日（火）和解協議・午後2時半より〉

7月15日（木）第16回裁判が大阪地裁8階で開催され、第2回目の和解協議がすすめられました。

当日41名の傍聴者が廊下で見守りました。当日は結論が出ず、次回8月3日（火）午後2時半から第3回目の和解協議が大阪地裁8階で開催されます。多数の傍聴参加をお願いします。

当日、夕刻6時30分より報告集会をアイクルの部屋にて行います。

高田橋さんとともにたたかう会